

## エコー（超音波）検査を受けられる方へ

超音波は人間の耳に聴くことのできる音よりもさらに高い周波数の（20,000Hzを超える）音波です。この超音波を送信して体内より返ってくるエコー（反射波）を受信し、画像化したものが超音波検査です。主に心臓、上腹部（肝臓、胆のう、膵臓、腎臓、脾臓）、頸部の血管、四肢の血管、甲状腺、乳腺さらに婦人科疾患（子宮・卵巣）、泌尿器疾患（腎臓、膀胱、前立線）等の検査に用いられます。

超音波検査は、からだに全く無害で赤ちゃんや妊娠している方も検査可能です。

検査の際、皮膚にゼリー剤を塗って検査します。

検査に必要な時間は検査する領域によって異なりますが15分～30分程度です。

### 検査時の注意事項：

- ① 上腹部の超音波検査の場合は、午前中の検査の時は朝食を、午後の検査の時は昼食を抜いて下さい。少量の水分（お茶、水）の摂取は構いません。
- ② 心エコー、頸部血管エコー、四肢血管エコー、甲状腺エコー、乳腺エコーの検査の場合は、絶食の必要はありません。
- ③ 婦人科、泌尿器科領域の検査の場合は、検査前の排尿は出来るだけ我慢して下さい。（尿がたまっているほうがきれいな画像が得られます。）

\*検査をキャンセルされる場合は、神戸掖済会病院 地域医療連携室（TEL 078 - 781 - 1411）にご連絡下さい。